

ハワイでロングステイ

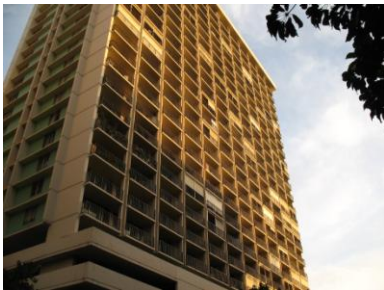
大山猛司 (犬山市)

期間：平成 23 年 3 月 27 日～4 月 24 日 (29 日間)

■準備

今年 2 月、妻が日本の花粉症から逃れるため 4 月はハワイに滞在したいと言い出しました。私は既に予定が入っており、最初の数日間のみ同行し、その後は妻のみが滞在することになりました。

ハワイの宿泊先は、WSC・ロングステイサポートステーション・アムネット社の田中友一郎氏に、2 月 6 日パソコンメールで依頼し、英語のできない妻が安心して生活できるコンドミニアムを探していただき、2 月 22 日にフェアウエイ・ヴィラ 1616 号室の予約が完了しました。



滞在したフェアウエイ・ビル

出発までの間に、毎年ハワイでロングステイされている小川夫妻、ハワイに何度も行っている友人の小笠原さん、アムネット社田中さんからハワイの状況、持ち込む物、ロングステイのコツ等を詳しくお聞きしました。

■夫婦で滞在：3 月 27 日 (日) ～4 月 5 日 (火)

報告者：大山猛司

中部空港から出発。ホノルル空港でアムネット社手配の車でワイキキのコンドミニアム、フェアウエイ・ヴィラに送ってもらう。玄関で部屋の管理人とアムネット社田中さんの出迎えを受けました。フェアウエイヴィラの玄関は電子式ロックで、受付に警備員が 24 時間常駐しており、セキュリティは万全でした。

部屋は広さ 12 畳くらいの 1 ルーム。ベッド 2 台、テレビ、市内通話可能な電話、バス・トイレ、洗濯機、乾燥機、台所には冷蔵庫、電気ガマ、電子レンジ、什

器類等が一式そろっており、そのまま生活できるようになっていました。

コンドミニアムの設備の使い方について一通り説明を聞いてから、田中さんに近くのスーパーと ABC ストアーに案内していただき、ABC ストアーで海外通話ができるテレホンカード 20 ドル分を買いました。携帯電話を持っていかなかった妻には必需品になりました。

コンドミニアムの場所はアラワイ運河に面しており、ワイキキビーチまで 400m くらいの距離です。16 階の部屋のベランダからアラワイ運河、ゴルフコース場等が見えました。

私が滞在している間にワイキキを中心にオアフ島の生活に必要なことを一通り経験することにしました。



16 階ベランダからの眺め

1. バスシニアカードの購入とバス旅

妻はレンタカーを使いませんから、島内の移動はすべてバスです。

ワイキキから 2 番系統のバスに乗り終点のバス事務所でパスポートを提示し市バスのシニアカード 認、顔写真を撮り 1 人 20 ドル支払って“The Bus Senior Card”を買いました。20 ドルの内訳は 10 ドルが 4 年間有効のカード代、3 月分と 4 月分が各 5 ドルです。ちなみに 1 回のバス代は 2.5 ドルです。

シニアバスカードを使って、ワイキキから左回りでオアフ島を一周しました。



市バスのシニアカード

2. ショッピングセンター、スーパーマーケット、フリーマーケット通い

アラモアナ・センターとドン・キホーテにはバスで何回も行きました。ドン・キホーテの日本食の品ぞろ

えの豊富さは見事でした。

土曜日はカピオラニ コミュニティ カレッジで開かれているフリーマーケットに行きました。ドン・キホーテより安いようで、妻はパイナップルを初めいろいろなものを買ひ、私の両腕は荷物でいっぱいになりました。

3. ワイキキの探索

ワイキキ・ショッピングプラザ内にある JCB プラザと、ワイキキ・ギャラリータワーにある各種カードで入れるラウンジには日本語対応の係員がいて、妻はいろいろ聞いていました。また、ここには日本の新聞・週刊誌・フリーに使えるパソコン、日本の番組が放映されているテレビが置かれており、コーヒー等飲み物もフリーで、ロングステイ並びにハワイ在住の日本人がくつろいでおり、友達にめぐり合える最適の場所のようでした。

4. 観光、ハイキング、海水浴

アムネット社でパールハーバーの見学と、ディナークルーズのツアーを申込み参加しました。

ダイヤモンドヘッドまで往復ハイキングをしました。2時間で標高 232mの頂上展望台に着きました。ワイキキビーチでの海水浴は年齢を忘れます。

5. 昼食

昼食は、ほとんど日本食を食べました。アラモアナ・センターにはソバ屋、寿司屋、壺番屋のカレーライスがあり、ワイキキには「丸亀うどん」もありました。



ワイキキの丸亀うどん

■妻 1人の滞在：4月5日（火）～4月24日（日）

報告者：大山進子

私のハワイスティの最大の目的は、毎年春になると起きる日本でのスギ・ヒノキの花粉症から逃れることでした。ハワイであれば日本語が通じるらしく、ワイキキは都会で外国の文化も味わえるので、初めてのロングステイでもやっていけそうな感じがしました。

主人が9日目に帰国して1人になってから少し緊張しましたが、1人になった気楽さもあります。コンドミニアムの生活は自炊も外食もよしで結構快適でした。また、花粉症はハワイに来てからほとんど感じません。

コンドミニアムの警備員の方は日本語が話せません。私は英語が話せないので困ったときに会話ができないので、ハプニングを起こさないよう気を配っていました。例えば、部屋からゴミ出しの時、部屋にキーを置き忘れないよう、ドアに注意書きを張りました。

ゴミ出しは一括してダストシュートから捨てられるので楽でした。



部屋の中のキッチン

<ハワイでの経験>

1. ヨガとフラダンスが無料で体験できるところがあり、毎日行っていたら 3、4 人日本人女性の友達ことができました。そのうちの 1 人がハワイ大学の学生さんで、しかも同じコンドミニアムでしたので何かと便利でした。帰国の際、残った食料を貰っていただきました。
2. 女性 3 人でマノアの滝へバスで行きました。
3. JCB サロンの係りの人からマカプウ岬への行き方とバスの時刻を聞き、人出が多い土曜日を選び行きました。そこでヨウ子さんと知り合いました。ヨウ子さんは 50 年前にアメリカ兵と結婚し、数年前にご主人が亡くなられ 1 人で住んでおります。そのお宅にバスで訪問しました。
4. 帰国の前日、同じコンドミニアムのマイコさんとランチでレストランに行きました。そこで日系二世の 3 姉妹さんから鯛の刺身をご馳走になり、いろいろお話をしました。3 姉妹さんは日本が本当に好きで、東日本大震災の前には北海道・東北地方を旅行したとおっしゃっており、日本を心配しておられました。英会話が少しでもできれば、外人さんと友達もできて、もっと楽しかったかもしれないと思っています。

コンドミニアムからバスが走るクヒオ通りまで約 200mの距離があり、食事・ショー・花火等、夜間 1 人で外出する時は少し怖かったです。サポートセン

ターがコンドミニアムの近くにあり安心でした。

ハワイに来てからカレンダーを自分で作って、今日は何日で、何をしたかを小さい枠に毎日書いていたので、日にちを間違えることはありませんでしたが、年齢のせいで物忘れ、勘違いもあるので、出発の前日には「明日は出発ですよ」と連絡をくださると、より安心感が増すと思いました。ちょっとした配慮をサポートセンターに期待します。

振り返ってみますと、楽しく充実したロングステイで良い思い出となりました。

サポートセンターの田中友一郎さん初め、お世話をいただきました皆様、ありがとうございました。